

# 政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

---

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	48.8	48.9	
評 価	(状況) 平成30年度は48.9%で、平成29年度より0.1ポイント、後期基準値より5.2ポイント増加しており、順調です。 (原因) 学校・家庭・地域が連携した様々な協働教育の取組が浸透してきたことが要因と考えられます。								☀ (向上)
					目標達成度 ■■■ (高)				

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成
- 基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり
- 基本事業 03 家庭教育力の向上
- 基本事業 04 青少年の健全育成

**基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成**

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	
評価	(状況) 平成30年度も10校で、市内小中学校全てにおいて事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域コーディネーター及び担当教職員との年数回の会議により、子どもたちの教育環境の充実のため地域の力が必要であるという共通認識が図られ、新たなボランティアの参加に繋がったことが要因です。									☀ (向上)
					目 標 達成度	🏰 (達成)				

**基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成**

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	90	87	55	
評価	(状況) 平成30年度は87件で、平成29年度より3件減少していますが、後期基準値より51件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校の状況を確認しながら、子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また取り組んだ事業について評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有しながら新たな取組を増やしていることが要因と考えられます。									☀ (向上)
					目 標 達成度	🏰 (達成)				

**基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成**

指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	9,211	9,386	7,800	
評価	(状況) 平成30年度は9,386人で、平成29年度より175人、後期基準値より4,861人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 放課後子ども教室は平成29年度より260人減少していますが、熱中症対策として事業を中止したことによるものであり、学校支援地域本部事業は、平成29年度より435人増加しており、事業が定着してきたことが要因と考えられます。									☀ (向上)
					目 標 達成度	🏰 (達成)				

**基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり**

指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	42.8	52.4	➔	
評価	小学生の子どもを持つ保護者が対象 (状況) 平成30年度は52.4%で、平成29年度より9.6ポイント、後期基準値より13.0ポイント増加しており、後期目標を達成しています。 (原因) 放課後子ども教室の継続的な取組により、子ども達の安全な居場所として広く認知されてきたことが要因と考えられます。									☀ (向上)
					目 標 達成度	🏰 (達成)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標 ①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	84.2	84.4	→
評価	全国学力・学習状況調査による指標です。								(横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は84.4%で、平成29年度より0.2ポイントの増加、後期基準値より0.4ポイントの減少していますが、横ばいです。</p> <p>(原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てに関する講座や研修会を開催し、家庭教育の重要性の理解及び実践を働きかけていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。</p>								目標達成度
									■ (中)

基本事業04 青少年の健全育成

指標 ①	青少年育成活動事業の延べ参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,489	4,427	3,430
評価									(向上)
	<p>(状況) 平成30年度は4,427人で、平成29年度より62人減少しましたが、後期基準値より1,664人増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 猛暑による熱中症対策のため放課後子ども教室が中止になったことが、平成29年度より減少したことの要因と考えられます。ただし、ジュニアリーダー活動の延人数は、同年度より1.4倍に増えています。活動を学校や地域に広く周知し知名度を上げるとともに、育成強化を行い、家庭、地域、学校等で活動できるよう支援したことで派遣回数が増えたことが要因と考えられます。</p>								目標達成度
									🏰 (達成)



政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	88.7	89.8	91.4	→
評価	(状況) 平成30年度は91.4%で、後期基準値より2.7ポイント、平成29年度より1.6ポイント増加しており、順調です。 (原因) 学校に行きたいと思う割合、勉強が楽しいと思う割合及び仲の良い友達がいる割合ともに、4年生で下がって6年生で上がる傾向が見られるものの、仲の良い友達がいる割合が対象学年全てで98%以上となっています。また、勉強が楽しいと思う割合が対象学年全てで平成29年度より上昇していることが要因の1つと考えられます。								☀ (横ばい)
					目標達成度 (達成)				

指標 ②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	72.7	70.5	76.2	→
評価	(状況) 平成30年度は76.2%で、後期基準値より3.5ポイント、平成29年度より5.7ポイント増加しており、順調です。 (原因) 仲の良い友達がいる割合が98.5%と高く、勉強が楽しいと思う割合が平成30年度が60.3%で、平成29年度より13.2ポイント上昇していることが大きな要因の1つと考えられます。								☀ (向上)
					目標達成度 (達成)				

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進
- 基本事業 02 教育の質の向上
- 基本事業 03 健康づくりと食育の充実
- 基本事業 04 教育相談体制の充実
- 基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備
- 基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

**基本事業01 郷土愛を育む教育の推進**

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	708	865	989	720
評価	(状況) 平成30年度は989時数/年で、後期基準値より281時数/年、平成29年度より124時数/年、増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域の人材や素材を活用しながら、地域と連携した学習を積極的に取り入れ、推進したことが要因の1つです。								

**基本事業01 郷土愛を育む教育の推進**

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	136	183	185	150
評価	(状況) 平成30年度は185時数/年で、後期基準値より49時数/年、平成29年度より2時数/年、増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 職場体験学習など地域に密着した学習を年度当初の計画に盛り込み、学習の機会を確保したことが要因の1つです。								

**基本事業02 教育の質の向上**

指標①	授業がわかると答える児童割合 (小学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	86.6	91.1	92.5	→
評価	(状況) 平成30年度は92.5%で、後期基準値より5.9ポイント、平成29年度より1.4ポイント増加しており、順調です。 (原因) 授業の内容がわかると答えた6年生の割合が94.8%と高く、各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送れる環境づくりの持続的な取組みなどが、要因の1つと考えられます。								

**基本事業02 教育の質の向上**

指標②	授業がわかると答える生徒割合 (中学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	66.8	76	75.6	→
評価	(状況) 平成30年度は75.6%で、平成29年度よりも0.4ポイント減少していますが、後期基準値より8.8ポイント増加しており、順調です。 (原因) 各校の授業内容の充実と共に、規則正しい生活や落ち着いた学校生活を送れる環境づくりの持続的な取組みなどが、要因の1つと考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的な生活習慣を身につけている児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	86.1	84.6	86.9	→	
評価	<p>(状況) 平成30年度は86.9%で、後期基準値より0.8ポイント、平成29年度より2.3ポイント増加しており、横ばいです。                  (原因) 朝食を毎日食べている割合が94.7%、毎日同じくらいの時刻に起きている割合が89.8%で、他の2つの質問項目と比較すると高く、家の人と学校での出来事について話をする割合が、平成29年度より7.6ポイント上昇していることが、要因の1つと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的な生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	83.4	83.8	81.9	→	
評価	<p>(状況) 平成30年度は81.9%で、後期基準値より1.5ポイント、平成29年度より1.9ポイント減少しており、横ばいです。                  (原因) 毎日同じくらいの時刻に寝ている割合が70.7%、家の人と学校での出来事について話をする割合が73.8%で、他の2つの質問項目と比較すると低いことが、要因の1つと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■ (中)	

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	17.2	17	17.2	18	
評価	<p>(状況) 平成30年度は17.2%で、後期基準値と同じで平成29年度より0.2ポイント増加していますが、後期目標値を達成しています。                  (原因) 給食センターに栄養教諭、栄養士が配置され、各学校での食育に関する指導が充実しています。また、「食育展」など一般市民に食育の重要性を啓発する取組も行っていることから、家庭でも意識が高まり、「残さず食べる」考えが深い理解を得られていることが要因の1つと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■ (達成)	

基本事業04 教育相談体制の充実

指標④	不登校出現率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	1.81	2.11	2.27	1.3	
評価	<p>(状況) 平成30年度は2.27%で、後期基準値より0.46ポイント、平成29年度より0.16ポイント増加しています。                  (原因) 各学校におけるきめ細かい対応やスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーとの連携による取組により、一定の効果は認められ、再登校に繋がっています。しかしながら、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合っており、不登校解消に多くの時間を要していること及び中学生の不登校率が5.36%と高いことが、要因の1つと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■ (中)	



□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	35	36	34.5	40
評価	<p>(状況) 平成30年度は34.5%で、平成29年度より1.5ポイント、後期基準値より0.5ポイント減少しており、横ばいです。                  (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携による取組みなどを積極的に行っていますが、不登校の要因が学校のみならず、家庭環境などが複雑に絡み合っていることが要因のひとつと考えられます。</p>				<p>(%)</p>				(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 平成30年度も0件で、後期基準値を維持しており、後期目標値も達成しています。                  (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応をしたことが、要因と考えられます。</p>				<p>(件/年)</p>				(横ばい) 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標②	学校施設の改修棟数 (累計)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	棟	7	6	7	7
評価	<p>目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)</p> <p>(状況) 平成30年度は、多賀城八幡小学校のエレベータ大規模改造工事を実施しました。大規模改造以外では、多賀城東小学校、山王小学校、多賀城八幡小学校、多賀城中学校及び東豊中学校の保健室にエアコンを設置しています。                  (原因) 学習環境の充実のため、必要となる改修を計画的に実施していることが要因です。</p>				<p>(棟)</p>				(向上) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	人/年	45	9	10	0
評価	<p>(状況) 平成30年度は10人で、後期基準値より35人減少し、平成29年度より1人増加しています。                  (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により、素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動や学校独自の取組、地域住民の協力による安全・安心な環境づくりが進んでいることが、数値を低い水準に抑えられている要因の1つと考えられます。</p>				<p>(人/年)</p>				(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

**基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進**

指標 ①	新たな時代への教育取組推進数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
		代替	業務取得	その他	学校教育課	件	6	8	8	
評 価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(件) 					---
	(状況) 平成30年度は8件で、後期基準値より2件増加し、平成29年度と同じですが、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度は、学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進事業、小学校理科支援事業、学習個別支援事業及び特別支援教育支援事業は、取組を継続しています。平成29年度に中学校生活指導支援事業と心の教室相談事業を総合事業化して子どもの心のケアハウス運営事業も引き続き実施しており、学校図書館補助員配置事業も平成28年度から市立図書館の事業として再編しています。									目標 達成度



政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	66.4	66	→	☀ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度
	(状況) 平成30年度は66.0%で、平成29年度より0.4ポイントの減少、平成27年度の64.5%より1.5ポイントの増加で、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 健康・スポーツや芸術(音楽や美術など)の活動をしている人の割合がそれぞれ30%を超えており、そのことが指標値の高水準の維持に繋がっていると考えられます。									(中)

指標 ②	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	26.7	28.5	→	☁ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度
	(状況) 平成30年度は28.5%で、平成29年度より1.8ポイントの増加、平成27年度の30.2%より1.7ポイントの減少で、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 年齢を問わず、生涯学習で身に付けた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないことなどが要因と考えられます。									(中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実
基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進
基本事業 03 芸術文化の振興
基本事業 04 生涯学習施設の運営
基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標①	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	講座/年	77	288	293	90
評価	<p>(状況) 平成30年度は293講座で、平成29年度より5講座、後期基準値より216講座増加しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 平成29年度、平成30年度ともに170を超える講座等を開催するなど、多賀城駅前に移転・開館した市立図書館において多くの講座等を開催していることが、大きく増加した要因です。</p>								☀️ (向上)
									🏰 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標②	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	7,254	11,675	16,099	7,600
評価	<p>年間延べ人数です。                  (状況) 平成30年度は16,099人で、平成29年度より4,424人、後期基準値より8,845人増加しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 市立図書館での講座等の開催数の増加に伴い、参加者が大きく増加しています。市民ニーズに合致している講座等を開催したことが要因と考えられます。</p>								☀️ (向上)
									🏰 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標③	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.2	45	48.1	➡️
評価	<p>(状況) 平成30年度は48.1%で、平成29年度より3.1ポイント増加していますが、後期基準値より5.1ポイント減少しています。                  (原因) 後期基準値と比較し、平成27年度に10ポイント近く減少していますが、これは「生涯学習を行っている市民割合」のアンケート指標の取り方を変更したことが要因と考えられ、それ以降は微増傾向にあると考えられます。</p>								☔️ (低下)
									▬ (中)

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	団体	184	212	211	200
評価	<p>(状況) 平成30年度は211団体で、平成29年度より1団体減少していますが、後期基準値より27団体増加しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 後期基準値と比較して団体数が増加したのは、既存団体の多くが登録を更新するとともに、新規団体の上乘せがあったことが要因です。一方、高齢化に伴う団体の解散、合併等があることが、近年、横ばいとなっている要因と考えられます。</p>								☀️ (向上)
									🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,484	5,679	3,900	
評価	<p>(状況) 平成30年度は5,679人で、平成29年度より195人、後期基準値より2,075人増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 登録団体数は平成29年度と比較し1団体減少していますが、個々の団体レベルでは登録者が増えていることが要因と考えられます。活動が活発化している団体と、高齢化に伴い解散等を行う団体があります。</p>								(向上) 目標達成 (達成)	

基本事業03 芸術文化の振興

指標①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	134,274	132,834	85,000	
評価	<p>(状況) 平成30年度は132,834人で、平成29年度より1,440人減少しましたが、後期基準値より56,022人増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度と比較して、1,440人の減少となりましたが、鑑賞者数が大きく増加した平成29年度と同程度の値が維持されています。平成29年度、平成30年度ともに、後期基準値と比較して演奏会や演劇の鑑賞者数が大きく増加していることが要因です。</p>								(向上) 目標達成 (達成)	

基本事業03 芸術文化の振興

指標②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	56.7	61.1	→	
評価	<p>平成27年度から取得を開始した指標です。</p> <p>(状況) 平成30年度は61.1%で、平成29年度より4.4ポイント、平成27年度の55.6%より5.5ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 市民会館において演奏会や演劇を鑑賞する市民が増えたことが要因と考えられます。また、平成30年度は、東北歴史博物館において「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」が開催され、多くの市民が鑑賞したことも要因と考えられます。</p>								(向上) 目標達成 (中)	

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	337,873	344,113	355,000	
評価	<p>(状況) 平成30年度は344,113人で、平成29年度より6,240人、後期基準値より83,646人増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 市民会館における芸術文化の鑑賞者数のほか、中央公民館の利用者が大きく増加していることが要因です。平成30年度は、市民会館において6,456人の増加となっており、平成29年度に続き高い値が維持されています。</p>								(向上) 目標達成 (高)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	4	0	0
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値								☀️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は0件で、平成29年度より4件減少し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 経年劣化による故障等は発生していますが、日々の検査と修繕により適切に対応していることが要因と考えられます。</p>								☀️ (横ばい)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標①	市立図書館の市民利用率			単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	17.2	16.5	50
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値								☀️ (向上)
	<p>(状況) 平成30年度は16.5%で、平成29年度より0.7ポイント減少しましたが、後期基準値より6.5ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。一方で、実質的な3年目を迎えた平成30年度は、貸出利用者がやや安定化してきた傾向があります。また、滞在型図書館であることから、蔵書の貸出を受けずに館内で閲覧している利用者も多くいると考えられます。</p>								☀️ (向上)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標②	市立図書館の登録者数			単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	70,886	78,929	40,000
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値								☀️ (向上)
	<p>(状況) 平成30年度は78,929人で、平成29年度より8,043人、後期基準値より54,094人増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 仙石線多賀城駅前に移転し開館した図書館は、指定管理者による管理運営への移行とともに、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大に伴い、市内外問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。特に傾向としては、児童・生徒・一般・団体等の中でも、一般層が平成29年度より9,154人増加したことなどが大きな要因です。</p>								☀️ (向上)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標③	市立図書館の利用者満足度			単位	基準値(H26)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	-	80.3	80.3	➡️
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月)								☁️ (横ばい)
	<p>(状況) 平成30年度は80.3%で、平成29年度と同値です。</p> <p>(原因) 9月と3月に2回実施した利用者アンケートにおいて、「大いに満足」及び「満足」の合計が8割あり、高い水準を保っています。働く世代の利用率が高く、市民に次いで仙台近郊地からの利用者も多いことから、交通の利便性の良さ等も影響していることが要因と考えられます。</p>								☁️ (横ばい)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	40.6	39.5	
評 価	(状況)平成30年度は39.5%で、平成29年度より1.1ポイント減少していますが、後期基準値より3.0ポイント増加しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因)スポーツ施設の適正な管理・運営及びスポーツの大会や教室の開催により、安定した環境と機会を提供できていることが要因と考えられます。								☀ (横ばい)
									目 標 達 成 度
									■ (高)



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	回/年	87	136	159	95	
評価	<p>(状況) 平成30年度は159回で、平成29年度より23回、後期基準値より72回増加しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業や、各小学校の協力を得て学校体育館で行う児童の体力・運動機能の向上事業を実施したこと、また平成29年度に引き続き、「健康・スポーツ相談室」を実施したことなどが要因です。</p>								(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	-	16.4	14.4	→	
評価	<p>(状況) 平成30年度は14.4%で、平成29年度及び平成27年度の16.4%より2.0ポイント減少しました。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。                  (原因) 平成29年度と比較してスポーツ教室・大会件数は増加していますが、20歳から39歳までの市民割合が大きく下回っており、仕事や家庭の関係で参加できないことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (中)	

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標③	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,898	3,539	3,556	4,900	
評価	<p>(状況) 平成30年度は3,556人で、平成29年度より17人増加していますが、後期基準値より342人減少しており、順調ではありません。                  (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあります。個人スポーツ等が普及しており、団体に所属せずにスポーツをする人が増加していることが要因と考えられます。</p>								(低下) 目標達成度 (低)	

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	322,238	352,738	338,956	350,000	
評価	<p>(状況) 平成30年度は338,956人で、平成29年度より13,782人減少していますが、後期基準値より16,718人増加しており、横ばいです。                  (原因) 中央公園が整備されたことによる利用者の増加が要因です。平成29年度との比較では減少していますが、市民テニスコートの工事期間中の部分利用、天候不順による中央公園の利用者数の減少が主な要因です。</p>								(横ばい) 目標達成度 (高)	

□基本事業の成果状況と評価

**基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実**

指標②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき																	
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	2	0	0		☀ (横ばい)																
評価	<p>(状況) 平成30年度は0件で、平成29年度より2件減少し、後期目標を達成しています。</p> <p>(原因) 施設の老朽化や設備の経年劣化による設備修繕は生じていますが、基幹設備の不具合が生じなかったことや小規模なものについては迅速に対応したことが要因と考えられます。</p>				<p>(件/年)</p> <table border="1"> <caption>実績値 (件/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>0</td></tr> <tr><td>R02</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値	H26	0	H27	0	H28	0	H29	2	H30	0	H31	0	R02	0	目標 達成度	🏰 (達成)
年度	実績値																										
H26	0																										
H27	0																										
H28	0																										
H29	2																										
H30	0																										
H31	0																										
R02	0																										



政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	54	52.3	
評 価	(状況) 平成30年度は52.3%で、平成29年度より1.7ポイント減少していますが、後期基準値より5.5ポイント増加しています。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成30年度に「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベントが行われたことが、要因と考えられます。								☀ (横ばい)
									目 標 達成度
									🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	文化財の調査・保存の推進
基本事業 02	文化財の積極的な活用促進
基本事業 03	文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	文化財保護法により適正に保護された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	209	208	—	
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数 (状況)平成30年度は208件で、平成29年度より1件減少し、後期基準値より33件増加しています。 (原因)住宅建築や宅地造成などの需要に伴い増減します。住宅建築等の需要が依然高い水準を維持していることが、要因と考えられます。				(件/年)					<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標②	特別史跡の公有化率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	58	58.9	60	
評価	(状況)平成30年度は58.9%で、平成29年度より0.9ポイント、後期基準値より2.2ポイント増加していますが、横ばいです。 (原因)特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。				(%)					<p>☀ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標①	活用されている文化財の面積				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m <sup>2</sup>	287,842	309,538	307,308	303,000	
評価	(状況)平成30年度は307,308m <sup>2</sup> で、平成29年度より2,230m <sup>2</sup> 減少していますが、後期基準値より19,466m <sup>2</sup> 増加しています。 (原因)平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度に中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。一方、平成30年度はそばの生育環境に適さない範囲2,230m <sup>2</sup> を除外したことから、平成29年度よりも指標値が減少しています。				(m <sup>2</sup> )					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標②	市内所在の文化財訪問者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	144,577	147,652	140,000	
評価	(状況)平成30年度は147,652人で、平成29年度より3,075人、後期基準値より15,621人増加しています。 (原因)多賀城跡あやめまつりの入込数が増加傾向にあることや平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、東北歴史博物館での「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」やその関連イベント開催などが要因と考えられます。				(人/年)					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標①	市内所在文化財の平均認知項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.17	7.38	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は7.38項目で、平成29年度より0.21項目増加しています。後期基準値より1.38項目増加していますが、横ばいです。</p> <p>(原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果に加え、「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で、多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の認知度がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>			<p>(項目)</p>				☀ (横ばい)	
									■ (中)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標②	市内所在文化財の平均訪問項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	5.45	6.05	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は6.05項目で、平成29年度より0.60項目増加しています。後期基準値より1.85項目増加していますが、横ばいです。</p> <p>(原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果に加え、平成30年度は「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベント会場であったことが、増加の要因と考えられます。一方で多賀城跡など知名度の高い所に比べそれ以外の訪問者数がなかなか伸びないことが、大きな向上に繋がらない要因と考えられます。</p>			<p>(項目)</p>				☀ (横ばい)	
									■ (中)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標③	市内文化財への情報アクセス数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	190,279	189,087	120,000
評価	<p>(状況) 平成30年度は189,087件で、平成29年度より1,192件減少していますが、後期基準値より73,087件増加しており、向上しています。</p> <p>(原因) 平成26年以降に歴なび多賀城のダウンロード数が順調に増加していること、平成30年度は「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」及びその関連イベント開催等に伴い市ホームページを適時更新していることなどが要因と考えられます。</p>			<p>(件/年)</p>				☀ (向上)	
									☀ (達成)

# 政策4

環境を大切にすることを育むまち

＜環境分野＞

---

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 01 環境との共生

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	市民、事業者、行政が地球環境に優しい取組を行い、市内の自然環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標①	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	52	60.1	59.7	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は59.7%で、平成29年度より0.4ポイント減少しているものの、後期基準値より7.7ポイント増加しています。                  (原因) 主要項目のうち「節電」「ごみの減量・分別・適正処理・リサイクルを行っている」「不要な包装を断っている」「節水をしている」の割合が60%を超えており、浸透していると考えられますが、「冷暖房の温度設定」「エコ製品・省エネ製品の購入」については60%未満となっており、実績値が伸びない要因となっています。</p>								目標達成度 ■■■ (高)

指標②	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	77.7	79	77.6	→
評価	<p>(状況) 平成30年度は77.6%で、平成29年度より1.4ポイント、後期基準値より0.1ポイント減少しており、横ばいです。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲内です。                  (原因) 史跡を含む里山的環境や水田などが多く存在していることが、高い割合を示している要因と考えられます。</p>								目標達成度 ■■■ (高)



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 環境教育の推進

基本事業 02 行政における環境保全の取組推進

基本事業01 環境教育の推進

指標 ①	市が開催した地球温暖化防止に向けた取組や環境事業の参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	人/年	231	1,827	2,834	
評価	(状況) 平成30年度は2,834人で、平成29年度より1,007人増加し、後期基準値及び後期目標値をともに大きく上回っています。平成30年度の内訳としては、出前講座受講者数780人、環境講演会1,044人、こどもエコレポートの回収数444人、環境副読本の配布数566人でした。 (原因) 市民会館大ホールで環境講演会を開催し、多くの市民が参加したことが要因です。				(人/年) 				(向上)
					目標達成度 (達成)				

基本事業02 行政における環境保全の取組推進

指標 ①	市役所及び出先機関の温室効果ガス排出量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	t/年	2,240	2,523	2,551	
評価	平成28年度に新設施設（桜木保育所・新図書館）が追加されています。 (状況) 平成30年度は2,551tで、平成29年度より28t増加し、後期基準値及び後期目標値ともに下回っています。 (原因) 平成28年度に新設された施設からの排出量が大きく影響していることが要因です。 ※平成31年度以降は、平成31年4月の多賀城市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の策定により、震災前に策定していた計画では対象としていなかった小・中学校施設や道路街路灯等を含む全ての公共施設を指標値として管理しています。				(t/年) 				(低下)
					目標達成度 (中)				

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 02 生活環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	快適な生活環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	快適な生活環境になっていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	58.2	59.9	64.2	
評 価	(状況) 平成30年度は64.2%で、平成29年度より4.3ポイント、後期基準値より6.0ポイント増加しています。 (原因) 平成29年度と同様、騒音、犬猫の管理、ごみ集積所の管理についての要望が多く見受けられますが、マナー啓発の呼びかけ等により、全ての内容で要望は減少傾向にあります。								☀ (向上)
									目 標 達成度
									🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害等の抑制
基本事業 02 水質環境の向上
基本事業 03 空き地・空き家対策の推進

基本事業01 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	115	78	64	91	(向上)
評価	(状況) 平成30年度は64件で、平成29年度より14件、後期基準値より51件減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 例年同様に、空地や隣家の樹木・雑草繁茂に対する要望が43件あり多数を占めていますが、管理者や地権者に対し、繰り返し適正な管理を求め続けていることが要因と考えられます。				(件/年) 					目標達成度
					■ (達成)					

基本事業01 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	36	16	26	23	(向上)
評価	(状況) 平成30年度は26件で、後期基準値より10件減少しており、順調です。一方で、平成29年度より10件増加したため、後期目標値は達成できませんでした。 (原因) 事業所に対し、適正な管理を要請し続けてきたことが、後期基準値より減少している要因と考えられますが、平成29年度より増加している主な理由は、雑草繁茂となっており、事業所の刈払いを実施する時期等の問題が要因と考えられます。				(件/年) 					目標達成度
					■ (中)					

基本事業02 水質環境の向上

指標①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	%	98.9	99	99	→	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は99.0%で、平成29年度と同様であり、後期基準値より0.1ポイント増加し、順調です。 (原因) 毎月、市と県で砂押川3か所と貞山運河1か所の4か所で4検体ずつ(年間192項目)調査しました。震災後は、津波により一時的に河川の水質が悪化したものの、時間の経過等に伴い水質悪化を招く要素が改善されたことが要因と考えられます。				(%) 					目標達成度
					■ (達成)					

基本事業02 水質環境の向上

指標②	生活排水人口処理率(水洗化率) (浄化槽+公共下水道)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	下水道課	%	98.4	98.4	98.8	98.5	(横ばい)
評価	(状況) 平成30年度は98.8%で、平成29年度より0.4ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に施工された開発行為の完成により、水洗化世帯が増加したこと及び2世帯が汲み取りから公共下水道への水洗化切替を実施したことが要因です。				(%) 					目標達成度
					■ (達成)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 空き地・空き家対策の推進

指標①	適正に管理されていない空き家の件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件	—	32	—	→	
評価	(状況) 平成29年度に策定した「空家等対策計画」に基づき、空家等対策を推進しています。									---
					目標 達成度	---				



政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 03 資源循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	ごみの減量と再資源化が進み、ごみ処理が適正に行われています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	kg/年	51	49	50	48
評価	<p>(状況) 平成30年度は50kgで、後期基準値より1kg減少しているものの、平成29年度より1kg増加し、後期目標値より2kg多くなっています。</p> <p>(原因) 可燃ごみは減少しているものの、不燃系のごみが増加しています。環境出前講座や広報誌による啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識向上が醸成されてきたことによるものと考えられます。</p>				<p>(kg/年)</p>				■ (中)
					目標 達成度				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみ排出量の減量

基本事業 02 再資源化の推進

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	kg/年	199	189	186	196	
評価	<p>(状況) 平成30年度は186kgで、平成29年度より3kg、後期基準値より13kg減少しており、後期目標値を達成しています。                  (原因) ごみ減量指導員による集積所での分別指導や環境出前講座、広報多賀城等での啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識が向上してきたことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標②	事業系ごみの年間排出量				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	t/年	6,044	6,317	6,289	5,510	
評価	<p>(状況) 平成30年度は6,289tで、平成29年度より28t減少したものの、後期基準値より245t増加しており、後期目標値の達成は難しい状況です。                  (原因) 震災後、復興に伴う事業活動の活発化による事業系一般廃棄物の継続的な増加が要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)	

基本事業02 再資源化の推進

指標①	資源化量・資源回収量				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	t/年	6,409	5,346	5,541	7,483	
評価	<p>宮城東部衛生処理組合への搬入量です。                  (状況) 平成30年度は5,541tで、平成29年度より195t増加していますが、後期基準値より868t減少しており、後期目標値の達成は難しい状況です。                  (原因) 家庭から排出される資源物の収集量、店頭回収及び許可業者等による独自ルートでの資源化量及び集団資源回収量はいずれも減少傾向にあります。個人売買等のリサイクルツールの多様化、情報ツールの普及に伴うペーパーレス化、製造業者等による過剰包装削減や容器包装の簡素化等、複合的な要因によるものと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)	

基本事業02 再資源化の推進

指標②	リサイクル率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	%	25.4	22.1	22.8	29	
評価	<p>宮城東部衛生処理組合への搬入量です。                  (状況) 平成30年度は22.8%で、平成29年度より0.7%ポイント増加していますが、後期基準値より2.6%ポイント減少しており、後期目標値の達成は難しい状況です。                  (原因) 新聞・雑誌等のペーパーレス化、過剰包装の削減や容器包装の簡素化等による資源回収量の減少に付随するかたちで、リサイクル率も減少していると考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 再資源化の推進

指標 ③	プラスチック容器包装不適合率（分別不適合率）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	%	14.9	15.8	16.3	14	
評価	<p>(状況) 平成30年度は16.3%で、平成29年度より0.5ポイント、後期準値より1.4ポイント増加しています。年々増加傾向にあり、後期目標値の達成が難しくなっています。                  (原因) 震災後、一時的に悪化したものの、環境出前講座やごみ減量指導員によるごみ集積所での立会い指導等により、分別等の適正排出を周知徹底したことで、現在は震災前と同程度の数値まで下がってきていますが、平成25年度以降は、ほぼ一定の増加傾向を示し、分別意識が低下してきていることが要因と考えられます。</p>									(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業02 再資源化の推進

指標 ④	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	76.7	78	79.7	→	
評価	<p>(状況) 平成30年度は79.7%で、平成29年度より1.7ポイント、後期基準値より3.0ポイント増加しています。                  (原因) 出前講座や広報多賀城等での分別排出の周知や、スーパーマーケット等で実施している食品トレー等の店頭回収の浸透、民間事業者等が提供するインセンティブ付きのリサイクルツールの利用増加が要因と考えられます。</p>									(横ばい) 目標達成度 (達成)